

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	みらいちむぐる			
○保護者評価実施期間	R7年 5月 2日		～	R7年 5月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	R7年 5月 2日		～	R7年 5月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 5月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アットホームな事業所の環境を活かし、のびのび楽しめる支援を心がけている。	子ども同士の関わりを大切に職員は必要以上の介入をしないように支援を行なっている。	職員間の連携を充実させさらにアットホーム感が深まるようにしていきたい。
2	就学前から小学生、中学生以降も支援が可能なので継続的な支援ができる。	子どもの状況に合わせた支援を心がけ安定した療育を目指している。	ライフステージに沿った目標も意識しながら個に合わせた支援計画を作成していく。
3	就学移行時において環境の変化を少なくし、スムーズに移行できる。	幼稚園との連携を図り、スムーズに修学に移行できるように準備している。	就学移行支援を明確に設計し、さらに不安なく移行できるように支援する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	対象年齢の幅が広く同時に行う支援の難しさがある。	年齢や発達の幅が広いため、個別の対応への調整が難しくなってくる。。	グループを分けたり、時間帯を分けたり、できる限り個に適した支援を行なっていく。
2	小さい子が大きい子の不適切な行動を真似してしまうことがある。	子ども同士の関わりによりいい部分も悪い部分も吸収されてしまう。	大きな子の支援の充実からから適切な行動が小さい子に広がっていけるように支援していく。
3	職員の支援が分散してしまう。	同時時間帯に児発・放デイの利用者がいるので、個別に対応する職員が増えてバランスが悪くなってしまう。	サポートスタッフの活用を図り、安定した支援を目指していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名

みらいちむくくる

公表日 R7年5月30日

利用児童数 17								回収数 5
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3	1		1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4			1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5					
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1			4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2			2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4		1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4			1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			4		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4	1				
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5						
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			4		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			1		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	5					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	5					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5					

公表事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 R7年5月30日				
	みらいちむくくる					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	加配を配置することにより余裕を持っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構成化された環境になっているか。 また、事業所の設備等は、障害の特性に直し、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	3	時計に数字を貼り付け読み取りやすくしている。階段に手すりを設置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	毎日清掃を行なっている。	1階が保育園のため午後の時間に荒を使うことがある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	2	4		全体で取り組めるように細分化を図る。
	7	保護者向け情報誌により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	4		実施期間が短いため、自己評価の回収率が悪い。周知を徹底していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		外部による評価も検討していく。
	10	職員の資力の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	3		定期的研修など計画を作成し実施に努めている。
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	2	4		支援プログラムをHP上にも公表し全体の周知を図る。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	2		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も盛り込まながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	3	おでかけや、玩具や知育玩具の入れ替えを行い子どもたちにとって支援を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を運営組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			毎朝情報共有を行いながら統一した支援が行えるように確認を行なっている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しが必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	2	4		4つの基本活動の周知がされていない。研修などで見識を広げていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	5	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（生活医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確保等）、施設調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6		対象の子どもがいなく未実施
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパースタイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	5		研修などの計画・実施に努める。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		計画的ではないが、公園などで交流を持つことがある。地域とも連携を深め計画的に進めていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5		機会があれば参加しているが、全体への周知が足りていない。情報の共有を図っていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		外部からの研修案内もあるので保護者への共有、案内に努める。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	3		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		保護者会の開催や保護者会イベントの実施で保護者が交流をもてる場の提供に努める。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に満足度等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動感想や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6		HPやSNSの活性化を図り情報の発信に努める。
	43	個人情報取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。		6		情報の公開など開かれた運営に努める。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	4		マニュアルの読み合わせや研修などを実施、HP上での公開など周知を図っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練、救出その他必要な訓練を行っているか。	2	4		上記と併せて実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	4		子どもたち、従業員が安全に活動できるように十分な計画の作成と訓練を実施していく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4		HP上での公開や訓練・研修の実施時に情報共有を図り周知につなげていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			